

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者生活訓練事業				シート番号	011-116
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課 評価責任者(課長名) 小須田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 2 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	視覚障害者の日常生活を豊かにし、教養を高める機会として事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	視覚障害者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	視覚障害者の文化活動や、身だしなみに関する指導等を実施することにより、教養やQOL(生活の質)の向上を図り、社会参加を促進する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	茶道・華道、身だしなみ講座の視覚障害者教養講座を開催。 (平成25年度まで実施していた中途失明者緊急生活訓練は、平成26年度から視覚障害者生活訓練として健康福祉プラザ指定管理業務に統合)				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 特定非営利活動法人 堺障害者団体連合会					

Ⅲ. 投入量

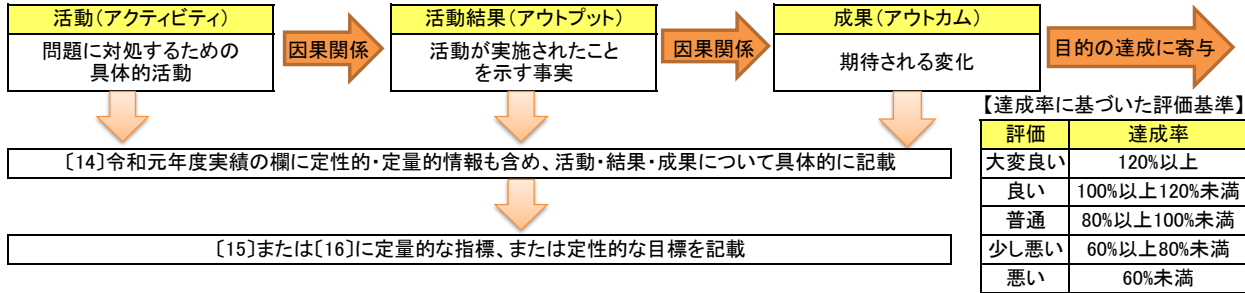
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費(a)	千円	595	559	735	559	589	509	567
	主な事業費内訳								
	委託料	千円	559	559	559	559	509	509	480
	謝礼金	千円	36	0	176	0	80	0	78
	旅費	千円							9
	国・府支出金	千円							
	財源内訳								
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円								
	一般財源	千円	595	559	735	559	589	509	567
12	人件費(b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,415	1,379	1,555	1,379	1,399	1,319	1,387

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者生活訓練事業	シート番号	011-116
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	障害者社会促進事業の一環として、視覚障害者を対象に、その感覚また日常生活の改善を図り、生活文化の向上に資するために、堺障害者団体連合会に委託し事業実施。 基礎講座である茶道・華道講座については、4月～翌3月までに月2～3回程度、計年間25回開催。 身だしなみ講座としては、毎年異なるテーマで年間4回開催。令和元年度は点字用紙を再利用して絆創膏ケースを作成したり、健康のためのハーブティー講座を実施。 参加者については、高齢化しており、平成30年度と同数で増加傾向はみられない。						
		指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		15	参加申込者数	人	目標値	15	15	15
					実績値	8	6	6
					達成率	53%	40%	40%
					評価	悪い	悪い	悪い
		算出方法・設定根拠など		講座の定員上限数				
		指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		16	修了者数	人	目標値	10	10	10
					実績値	6	6	4
					達成率	60%	60%	40%
					評価	少し悪い	少し悪い	悪い
		算出方法・設定根拠など		講座定員(15名)の6割超				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	参加申込者数	人	8	6	6
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,379	1,379	1,319
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	172,375	229,833	219,833
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	修了者数	人	6	6	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,379	1,379	1,319
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	229,833	229,833	329,750
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	参加者数は年齢上昇等により減少傾向にあるためいずれも目標を達成することができなかった。 参加者情報やニーズ等を調査し、ニーズに合わせた内容への転換を図る必要がある。 また、講座の広報活動も工夫していく必要がある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	障害者生活訓練事業	シート番号	011-116
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響		
		<input type="checkbox"/> 廃止できる	視覚障害者にとって当該事業は教養やQOLの向上を図るという当初の目的もあるが、視覚障害者の当事者同士が1つの場所に集まり情報を共有する場にもなっているため、廃止をすれば視覚障害者の社会参加の機会を奪うことになってしまう。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない			
		事業休止の可能性		休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	休止の場合の再開時期
		<input type="checkbox"/> 休止(延期)できる	20と同様	<input type="checkbox"/> 令和2年度中	<input type="checkbox"/> 令和3年度
<input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない					
21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	コストの縮減		縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
		<input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる	当該事業は合わせて年間29回の講座を実施している。それらの開催回数を減少させたり、一部休止させることでコストの縮減ができると考えられる。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる			
		<input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる			
<input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる					
<input type="checkbox"/> 縮減できない					
22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	事業手法の適切性		改善する場合は改善策、その他は理由	
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある	当該事業は堺市総合福祉会館で開催されており、3密を考慮していく必要がある。具体的に、講座を開催する部屋を考慮したり、実施する講座自体を考慮していかなければならない。		
		<input type="checkbox"/> 改善する必要がある			
<input type="checkbox"/> 既に対応できている					
23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)		理由・説明 既に当該事業は民間団体に委託されており、十分な連携を取りながら適切に運営をすることができている。	
		① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進			
		② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化			
		③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担			
		④ <input type="checkbox"/> 関係部署名 ()			
		⑤ <input type="checkbox"/> 関連事業名 ()			
		⑥ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携			
⑦ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡					
⑧ <input type="checkbox"/> その他 ()					
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	事業の方向性		実施年度	
		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充		<input type="checkbox"/> 令和2年度	
		公金投入の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度	
		<input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大		<input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	所見 当該事業は視覚障害者の日常生活の改善を図り、生活文化の向上に資することを目的に社会参加を促しているが、参加者の高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響等改善しなければならない課題は多く存在する。 令和3年度に一部事業費を見直し、令和4年度に予定している「堺市立健康福祉プラザ管理業務」の指定管理業務切替時に指定管理業務へ再編することも含めて検討する。			